



第12回 日本-ボリビア国際医学・消化器シンポジウム

森下 鉄夫

特定非営利活動法人日本-ボリビア医療友好協会 理事長
国際医療福祉大学臨床医学研究センター 教授・山王メディカルセンター

一昨年(2014年)11月14日～16日に第12回日本-ボリビア国際医学・消化器シンポジウム(XII Simposio Internacional Boliviano-Japones de Medicina)が、ボリビアの首都ラパスのアキノ・ボリビア大学(Universidad de Aquino Bolivia)で開催されました。

今回のシンポジウムは、日本-ボリビア消化器病学研究所・病院(Instituto de Gastroenterologia Boliviano-Japones)院長のDr. Ernesto Antonio Lozaがボリビア側会長を、世界消化器病学会(World Gastroenterology Organization)ラパストレーニングセンター長のDr. Guido Villa-Gomezが学術委員長を務められました。お二人とも東邦大学医学部内科の故安部井徹教授の許に留学されました。日本側会長は森下が務めました。

日本から慶応義塾大学、千葉大学、昭和大学、東邦大学、防衛医科大学、東京歯科大学、国際医療福祉大学より14名の医師が参加されました。

日本側より13の特別講演、ボリビア側より13の指定講演とその他一般演題が発表されました。胃・十二指腸潰瘍、胃癌、大腸癌、ヘリコバクターピロリ菌感染、シャーガス病、炎症性腸疾患、感染性腸炎、ウイルス性肝障害、肝癌、胆道癌、口腔疾患などに加え腸内細菌叢、癌細胞転移機序やICT(Information Computer Technology)の医療応用など臨床・基礎医学にわたる内容で、活発な学術集会成为りました。

今回シンポジウムに延べ403名の医師・医学生が出席されました(写真1)。第1回から第12回までのシンポジウムには計延べ187名の日本人医師、1名の日本人看護師、4,189名のボリビア人医師・医学生、295名の他国の医師、24名のボリビア人看護

師が参加されました。第13回シンポジウムを今年2016年11月にサンタクルスで予定しています。

上述の日本-ボリビア消化器病学研究所・病院(写真2)も訪問しました。2014年は日本-ボリビア国交樹立100周年および日本-ボリビア保健医療協力



写真1 シンポジウム会場。後ろの半立ち見席にも若手医師や医学生がみえる。



写真2 日本-ボリビア消化器病学研究所・病院の玄関にて。上部に日本-ボリビア国交樹立100周年および日本-ボリビア保健医療協力35周年のサインボードがみえる。

35周年にあたる記念すべき年でしたが、この研究所・病院は1979年にスクレ、コチャバンバと同様に日本の援助により建設され、37年後の現在でもボリビアの消化器病診療・研究の中心施設です。院長は大統領により直接任命されます。現在は日本からの援助がないにもかかわらず、研究所・病院の門や玄関、各所に日章旗、日の丸のステッカー（写真3）や開設に尽力された故亀谷寿彦教授（東邦大学医学部外科）、井上千賀子先生など日本の先生方の写真が飾られています。日本から供与された旧世代のCT（Computer Tomography）などの医療機器も大事に使われていました。

ボリビア側による歓迎レセプションではライブハウスであるペーニャで深夜までfolklore・民俗舞踊のショーを堪能しました。日本側の答礼レセプションはホテル会場で日本大使館や国際協力機構（JICA）の方々にもお越しいただき催され、好評の日本人女性医師による茶道のお手前やボリビア人女性への浴衣の着付けも披露されました。



写真3 病院内の内視鏡治療室の案内板にも日の丸が描かれている。

日本-ボリビア国際医学・消化器シンポジウムは第1回が1962年に同ジラパスで催されました。途中ボリビア国内の政治的混乱のため中止・延期されることがありましたが、隔年に日本とボリビアの医療関係者により共同開催されます。私たちは基礎・臨床医学の各領域さらには看護領域、コメディカル領域も含めた学際的学術集会および若手医療者の教育集会へ発展させることを目指しています。なお、シンポジウムは英語・スペイン語・日本語間で同時通訳（一部逐次通訳）されます。

日本をめぐる国際情勢は複雑ですが、私たちは医学・医療を通じた友好・協力を推進し、日本のソフトパワーのほんの一部にでもなれればと思っています。

御講演・御出席くださいました金井隆典先生、工藤進英先生、竜崇正先生、南里清一郎先生、三浦千夫先生、永田博司先生、山内智博先生、唐澤直子先生、中嶋均先生、今井一男先生、古谷賢太先生、渋井武夫先生、五十嵐健太先生（順不同）に深謝申し上げます。

（特定非営利活動法人日本-ボリビア医療友好協会ホームページ <http://www.nippon-bolivia-iryo-yuuko.jp>）

参考文献

- 1) 森下鉄夫：日本・ボリビア医療友好協会． W'Waves、9：26-27、2003.
- 2) Morishita T. : Non profit organization Japan-Bolivia association for medicine and friendship. W'Waves、14：102-103、2008.
- 3) 森下鉄夫：第9回日本-ボリビア消化器国際シンポジウムと第30回パンアメリカン消化器病学会特別シンポジウム． W'Waves、13：24-25、2007.
- 4) 森下鉄夫：第10記念回日本-ボリビア消化器国際シンポジウム． W'Waves、17：34-35、2011.
- 5) 森下鉄夫：第11回日本-ボリビア国際消化器シンポジウム． W'Waves、19：51-52、2013.